

# 〔千曲川下流森林計画区〕

## 1 計画区の概要

### (1) 位置等

本計画区の国有林野は48,818haで、長野県北部の千曲川下流域に位置しており、通称「北信」と呼ばれています。

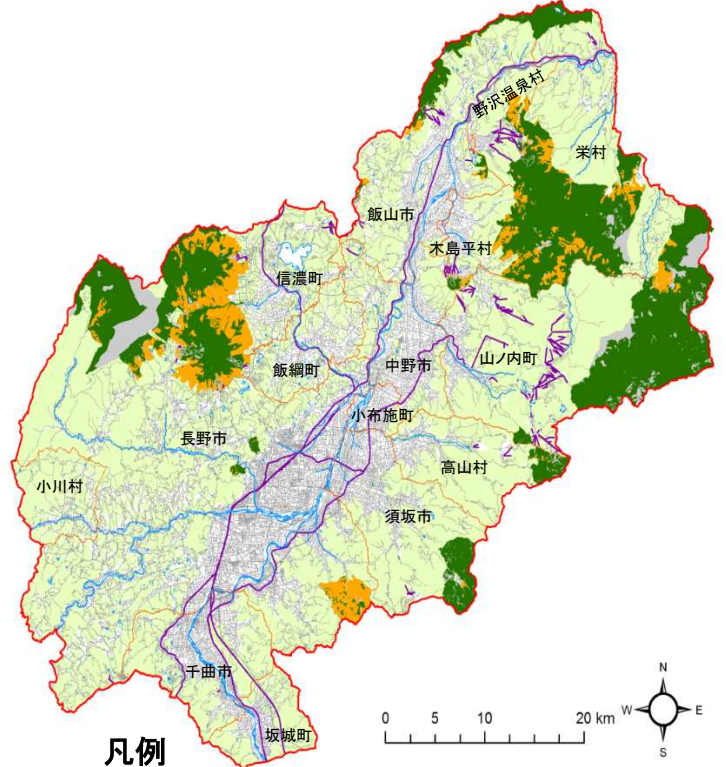
### (2) 森林の構成と特徴

国有林野の現況は、北部は豪雪地帯でブナ等の広葉樹を主体とした天然林が70%、カラマツ、スギ等を主体とした人工林が18%となっています。

また、国有林野面積の90%が水源かん養等の保安林に指定されています。

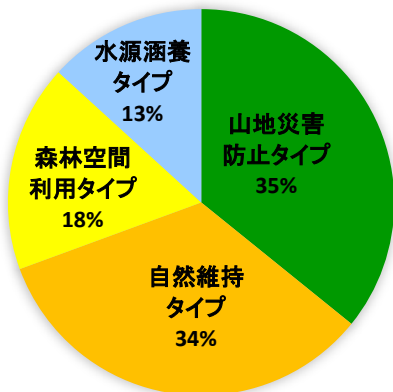
山岳地帯は、優れた自然景観を有しており、上信越高原国立公園、妙高戸隠連山国立公園に指定されているとともに、戸隠高原やカヤの平などのレクリエーションの森等では、森林浴等保健休養の場、スキー場、登山等の場として多くの人々に利用されています。

〔国有林の分布〕

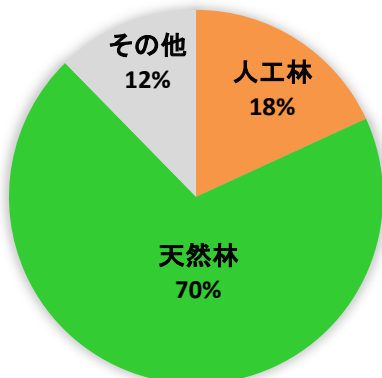


### (3) 国有林野の現況面積比

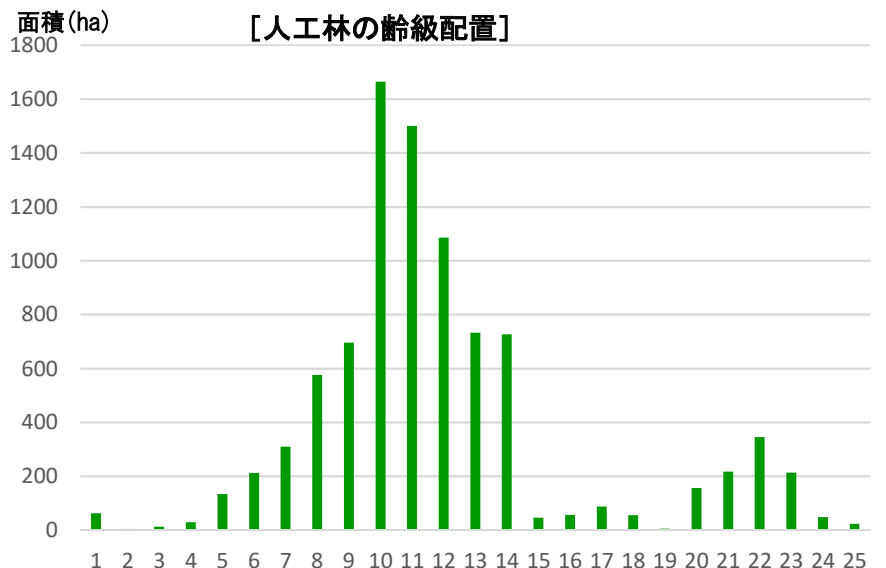
〔機能類型〕



〔人工林、天然林の分布〕



〔人工林の齢級配置〕



## 2 主要事業と主な取組

- ・本計画区は、山地災害防止タイプが35%あり、土砂の流出・崩壊の防備など国土保全の役割が期待されることから、間伐等の森林整備事業及び治山事業を適切に実施します。
- ・生物多様性の保全機能を発揮するため、保護林等の貴重な森林生態系等の保護・管理に取り組みます。
- ・森林の水源涵養機能、山地災害防止機能などの公益的機能の維持増進との均衡を図りながら木材の供給を図るとともに、林齢構成の平準化にも配慮しつつ、主伐期を迎えた人工林の主伐・再造林を実施し、木材の供給を図ります。
- ・高齢級人工林カラマツのうち、高品質なものを「信州プレミアムカラマツ」としてブランド化し、そのブランドの浸透・定着を図り、適正な評価の確立と安定的な供給に努めます。
- ・景観が優れている里山林が多く、松くい虫被害拡大への地域の関心が高いことから、松くい虫などの森林病害虫による森林被害を林野巡視等により早期発見に努めるとともに、関係行政機関等と連携しながら適切かつ効果的な防除に努めます。

### (1) 主要事業の実施(5カ年分の計画量)

- 健全な森林を育成し、公益的機能の維持増進を図るため、間伐を積極的に計画します。

伐採	新計画	現計画	増減
主伐	71,459m <sup>3</sup>	75,404m <sup>3</sup>	-3,945m <sup>3</sup>
間伐	177,474m <sup>3</sup>	157,275m <sup>3</sup>	20,199m <sup>3</sup>
臨時伐採	24,867m <sup>3</sup>	28,121m <sup>3</sup>	-3,254m <sup>3</sup>
計	273,800m <sup>3</sup>	260,800m <sup>3</sup>	13,000m <sup>3</sup>

注：臨時伐採とは、事業実行上の支障木等で、計画時点で箇所付けできないもの。

伐採	新計画	現計画	増減
主伐面積	202.51ha	232.53ha	-30.02ha
間伐面積	1,615.85ha	1,604.41ha	11.44ha

注：主伐面積の新計画量の内、分収造林69ha、分収育林42haが占めている(人工林主伐面積の55%)

更新	新計画	現計画	増減
人工造林	192.17ha	102.69ha	89.48ha
天然更新	— ha	— ha	— ha
計	192.17ha	102.69ha	89.48ha

保育	新計画	現計画	増減
下刈	845.78ha	398.31ha	447.47ha
つる切	194.71ha	116.76ha	77.95ha
除伐	32.60ha	207.48ha	-174.88ha

- 効率的な森林施業、森林の適正な管理の基盤である路網を整備するため、林道の開設や改良を計画します。

林道	新計画	現計画
開設	3,100 m [ 2 ]	13,805m [13]
改良	153m [16]	1,445m [51]

注：[ ]は箇所数。

- 災害に強く安全で安心な国土づくりのため、保全施設の設置や保安林の整備を行います。

治山事業	新計画	現計画
保全施設	9箇所	11箇所
保安林整備	278.39ha	350.77ha

注：保全施設の箇所数は「単位流域」の数。

- 原始的な森林生態系等からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存など貴重な自然環境の保全・管理を推進します。



山地災害防止タイプ及び自然維持タイプ  
(戸隠山国有林)

## (2) 国有林野の維持・保存

### ○ 貴重な森林の保存

自然環境の維持、動植物や遺伝資源の保護等を目的に設定している「保護林」、野生生物の移動経路の確保等を目的に設定している「緑の回廊」について、引き続き適切な保護・管理に努めます。



カヤの平等生物群集保護林

### ○ 森林病虫害と獣害対策

松くい虫などの森林病虫害による被害の早期発見に努め、民有林と連携しつつ必要な対策に取り組めます。また、ニホンジカによる樹木の剥皮や高山植物等の食害防止対策に取り組めます。



ばつとうくんじょうしより  
伐倒燻蒸処理（朝日山国有林）

### ○ 溪畔周辺の取扱い

溪畔周辺は、野生生物の生息・生育場所、移動経路、種子などの供給源等として、生物多様性の保全上重要な役割を担っているため、本来成立すべき植生による上流から下流までの連続性を確保すること等により、きめ細やかな森林生態系ネットワークの形成に努めます。

## (3) 林産物の供給

○ 国有林材の供給等を通じて木材の安定的・効率的な供給体制の構築に寄与するよう努めます。

○ 路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト作業システムの定着を図り、素材（丸太）販売に取り組めます。また、これまで林内に放置され利用が低位であった末木枝条等の有効利用も考慮しつつ、木材の供給に努めます。

○ 長野県産の一定の基準を満たした人工林カラマツ材を「信州プレミアムカラマツ」と表示し、ブランド化に向け取り組めます。

○ 用途の拡大を目指し、未利用材の有効利用と歩留まりの向上、さらに合板や集成材等の原料供給や、土木分野における木材の利用範囲の拡大を推進します。



信州プレミアムカラマツ（北信木材センター）



構造材利用のイメージ

### 保護林の設定状況

種類	箇所	面積(ha)
森林生態系保護地域	1	8,839
生物群集保護林	3	4,616
希少個体群保護林	4	1,358
計	8	14,813

### 緑の回廊の設定状況

種類	総延長(km)	面積(ha)
緑の回廊 雨飾・戸隠	6.2	1,808 [3,792]

注：[ ]は、緑の回廊全体（2森林計画分）の面積である。

#### (4) 国有林野の活用

国民の保健、文化、教育的利用に積極的に供することが適当と認められる国有林については、「レクリエーションの森」に設定しています。



カヤの平自然休養林

#### レクリエーションの森の設定状況

種 類	箇所	面積(ha)
自然休養林	2	4,078
自然観察教育林	1	75
野外スポーツ地域	6	1,280
風致探勝林	5	480
計	14	5,913

#### (5) 公益的機能維持増進協定

国有林に隣接・介在する民有林野のうち、森林所有者等による施業が行われず公益的機能確保への支障が懸念される森林については、公益的機能維持増進協定制度の活用により、森林所有者等と協定を締結し、国有林と民有林の一体的な整備・保全に努めます。

#### (6) 国民の参加による森林の整備

森林ボランティア団体による森林づくり活動、企業のCSR活動、学校が行う林業体験や森林教室等の森林環境教育に対し、フィールドの提供に取り組めます。

本計画区では、6箇所を活動のフィールドとして設定しています。

#### フィールドの提供状況

種 類	箇所	面積(ha)	設定箇所
ふれあいの森	1	605.10	黒姫山国有林(信濃町) 戸隠山国有林(長野市)
木の文化を支える森	2	409.26	池の沢国有林(野沢温泉村) 戸隠山国有林(長野市)
社会貢献の森	1	27.36	霊仙寺山国有林(信濃町)
遊々の森	1	13.84	霊仙寺山国有林(信濃町)
多様な活動の森	1	35km	豊田山国有林(飯山市)



ふれあいの森での植樹

#### (7) 森林・林業再生に向けた貢献

地域における施業集約化の取組を推進するため、森林共同施業団地の設定による民有林野と連結した路網の整備等と相互利用の推進、計画的な間伐や現地検討会等を通じた森林・林業技術の普及に取り組めます。

また、民有林の森林経営管理制度が円滑に機能するよう、技術支援などに取り組めます。

名 称	民有林 (ha)	国有林 (ha)	施業の内容
木島平四ノ宮地域森林整備推進協定	635	466	路網の整備及び間伐等
長野市若穂保科地区森林整備協定	205	1,342	路網の整備及び間伐等

## <参考>

### ○ 機能類型と管理経営の考え方

個々の国有林野を第一に発揮すべき機能によって5つのタイプに区分し、それぞれの機能の発揮を目的とした管理経営を行います。

#### 山地災害防止タイプ

- ① 主に土砂の流出・崩壊の防備等山地災害防止機能の発揮を第一とする森林  
〔土砂流出・崩壊防備エリア〕
- ・ 針広混交林になっている森林は現状を維持
  - ・ 天然力の活用により更新が可能な場合は育成複層林又は天然生林へ導くための施業を実施
  - ・ 人工林は、択伐、間伐等により針広混交林への誘導に努力
- ② 風害・濃霧等の気象害による居住、産業活動に係る環境の悪化の防備を第一とする森林  
〔気象害防備エリア〕
- ・ 人工林は育成単層林又は育成複層林に導くための施業
  - ・ 天然林は育成複層林又は天然生林に導くための施業

#### 自然維持タイプ

- 原始的な森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を第一とする森林
- ・ 原則として現況の森林を維持することを目的とした天然生林に導くための施業（自然の推移に委ねる管理）
  - ・ 原始的な森林生態系を有する森林を保護林として管理

#### 森林空間利用タイプ

- 保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とする森林
- ・ 天然林は天然生林へ導くための施業
  - ・ 人工林は育成複層林へ導くための施業、間伐等による針広混交林化を推進
  - ・ 自然観察等に適した森林の造成や修景伐などを推進
  - ・ レクリエーションの森は広く国民に開かれた利用の場として提供

#### 快適環境形成タイプ

- 快適な環境の形成の機能の発揮を第一とする森林
- ・ 騒音又は大気浄化に有効な森林の幅を維持するため、原則として育成複層林へ導くための施業

#### 水源涵養タイプ

- 水源のかん養の機能の発揮を第一とする森林
- ・ 人工林は伐期を長期化し、伐採を行う場合は伐採箇所のモザイク的配置に留意しつつ小面積分散型の施業
  - ・ 水源の保全等に必要な森林は育成複層林へ導くための施業。周囲の母樹の生育状況から天然更新が見込める場合は択伐等により積極的に広葉樹等を導入
  - ・ 天然林は育成複層林又は天然生林へ導くための施業

#### ※ 木材生産機能

- ・ 林相の維持・改良など公益的機能の維持・発揮のために必要な施業の結果で、伐採・搬出される木材の有効利用、機能発揮に支障を及ぼさない範囲で年齢構成の平準化や地域ニーズ等に応じて伐採を計画的に行うことにより木材を供給